

(1) 事業の目的

沼津駅付近は、JR東海道線・JR御殿場線による南北市街地の分断により、交通混雑や中心市街地の賑わいの低下が深刻になっている。連続立体交差事業を核とする沼津駅周辺総合整備事業により、交通の円滑化、南北市街地の一体化を図り、県東部の拠点都市を形成するまちなみの再編を進めている。

(2) 指標①：沼津駅周辺の交通円滑化率

沼津駅周辺総合整備事業により整備される街路の整備率

指標②：市街地の再編率

沼津駅周辺総合整備事業の土地区画整理事業により再編される街区の整備率

指標の達成状況

- ①平成29年度末の最終実績値は31.0%であり、目標（34%）を達成しなかったが、駅南第一土地区画整理事業における区画道路、幹線街路のべL=396mを整備した。
- ②平成29年度末の最終実績値は42.2%であり、目標（45%）を達成しなかったが、駅南第一土地区画整理事業における仮換地指定面積は、98.5%まで進捗した。

| 計画の成果目標 | 定量的指標 | | | |
|------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------|
| | H25当初 | H29末最終目標 | H29末最終実績 | H29末達成率 |
| 指標①沼津駅周辺の交通円滑化率 | 27.3% (2,909.3m / 10,676m) | 34.1% (3,643.1m / 10,676m) | 31.0% (3,305.8m / 10,676m) | 54.0% |
| 指標②沼津駅周辺の市街地の再編率 | 39.7% (13.44ha / 33.87ha) | 45.4% (15.38ha / 33.87ha) | 42.2% (14.29ha / 33.87ha) | 43.8% |

指標①整備（交通円滑化）された道路延長／整備（交通円滑化）が必要な道路延長（単位：m）
 指標②土地区画整理事業再編済面積／土地区画整理事業再編計画面積（単位：ha）

(3) 指標に関連する実施事例 沼津駅南第一地区土地区画整理事業



(4) 定量指標以外の効果発現状況

沼津駅周辺総合整備事業区域では、ふじのくに千本松フォーラム（プラサヴェルデ）が平成26年にオープンし、民間投資によるマンションやホテル、専門学校が立地するなど、新たなまちなみが形成され、新たな賑わいが生まれてきた。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

連続立体交差事業については、新たな整備計画にて事業を継続し、工事施行協定に向けた鉄道事業者との協議を進め、用地取得、埋蔵文化財調査など、速やかに工事着手できるよう、事業を推進する。

土地区画整理事業や街路整備等の関連事業についても、引き続き事業の推進を図っていく。